

# NEWS LETTER KUMAMOTO

ニュースレターくまもと

January 2011 vol. 87

■ Publisher : Kumamoto International Foundation 4-8 Hanabata-cho, Kumamoto City, 860-0806, Japan  
Tel : 096-359-2121 e-mail : pj-info@kumamoto-if.or.jp URL : http://www.kumamoto-if.or.jp/  
■ 発行 : (財)熊本市国際交流振興事業団 〒860-0806 熊本市花畑町 4-8  
Tel : 096-359-2121 e-mail : pj-info@kumamoto-if.or.jp URL : http://www.kumamoto-if.or.jp/



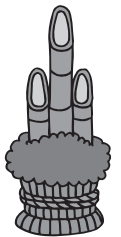
## 新「移民政策」から今後の日本の多文化共生を考える

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、当熊本市国際交流振興事業団(以下、KIF)の国際交流・協力、そして多文化共生事業に大変多くの皆さんにご参加をいただき、また、色々なアドバイス、ボランティア活動等をとおして支えていただきました。改めて御礼を申し上げますと共に、本年も引き続き倍旧のご厚情を切にお願いいたします。

さて、熊本市は、本年3月12日に九州新幹線全線開業、平成24年に政令指定都市の移行実現を迎えようとする中、大きな経済的効果を期待しています。その経済的効果を維持、成長していくには、東アジアとの共生などグローバル化への対応、さらには「すべての人が安心して快適に暮らせる開かれた社会」を構築し、海外から留学、国際結婚、そして就労で来熊する方々をパートナーして受け入れる社会基盤を育てていくことが大切になります。一説によると、日本がこれまでの経済成長を続けていくには年間1000万人の労働人口を海外から受け入れる必要があると言われていています。

このような状況の中、KIFのニュースレター新年号では、KIFの多文化共生事業アドバイザーである新潟県 長岡市国際交流センター長 羽賀友信さんと、ドイツの移民政策を研究された熊本市国際交流員アクスト フローリアンさんに、今後の多文化共生社会を考える上で重要となる「移民政策」について対談をしていただきましたので紹介いたします。

2011年 元旦 KIF常務理事 松本富士男



### CONTENTS

新年の挨拶 ..... 1・2P  
 コムスタカー外国人と共に生活する会の紹介 ..... 3P  
 事業団からのお知らせ ..... 4・5P  
 国際掲示板 ..... 6・7P

世界を知る ..... 8・9P  
 ちよつと日本語・きざし ..... 10P

### 「移民」とは...

2009年7月15日、国会において「出入国管理及び難民認定法」の改正法が成立し公布され、外国人研修・実習制度の見直し、在留資格「就学」の「留学」への一本化などに加え、新しい在留管理制度の導入が最も大きな改正点となりました。この在留管理制度は、2012年7月に実施となりますが、現入国管理と在留管理を一本化するもので、本制度下では、3か月を超えて在留する外国人には「在留カード」が交付され、そして、住民基本台帳に記載されることとなります。

この大きな変化が意味することは何でしょうか？

長岡市国際交流センター長の羽賀友信さん(以下羽賀さん)は、日本における外国人施策は、入国時の審査、そして管理と排除であり、移民という概念が存在していない、と指摘されます。本来、移民を一時的な訪問者以外のすべての在住外国人を示す言葉であると理解するならば、90日を超えて日本に在住する外国人はすべて移民としてとらえ、受け入れるべき外国人の日本語能力の基準づくり、その基準に達していない外国人に対する日本語教育支援、多面的な文化の違いを如何に社会統合していくか等を検討し法制化していくことが



重要であると述べられました。すなわち、入国整理に、新たに社会統合を加えた二本建の外国人政策が必要となります。

\*現出入国管理法下で入国して90日以上在住する外国人は、居住地で外国人登録を行うことが義務づけられてはいますが、特に地域社会に統合していくための国家としての法律はなく、その多くの在住外国人の生活は各地域の民間レベルの善意サポートに頼っていると云っても過言ではありません。

### ドイツの移民政策と教育

移民をいち早く受け入れたドイツの実情について熊本市国際交流員アクスト フローリアンさん(以下、アクストさん)が、最近のドイツの移民関係の興味深い動きについて述べられました。「一つ目は、メルケル首相が、2010年6月に行われたサッカーワールドカップ大会でドイツ代表の23人うち11人が移民の背景をもった選手であったことに言及し、3位になったドイツチームを讃えて「ド

イツは多文化共生に成功した」という発言をしました。二つ目は、その数ヵ月後には、ドイツ連邦銀行理事だったティロ・ザラツィン氏が、イスラム教徒の移民について、「生産性が低く、社会保障に依存している人が



多く、ドイツに経済的な利益をもたらさない」といった人種差別的な発言を著書上で行い、それが原因となって解任されました。」

この2つの相反する動きを生み出したドイツの多文化共生社会と移民受入の実情について、アクストさんは次のとおり解説されました。

ドイツの外国人出入国管理は、2005年の統合プログラムが施行されるまでは在留者に対する政策はなく、一度入国してしまえば何をしても良いという状況でした。ドイツにおける在在外国人数は670万人(2008年現在)で、国民総人口の約8%にあたります。このうち25%がトルコ人となります。イタリア、旧ユーゴスラビア、ギリシア、ポーランドがこれに続きます。さらに最近では短期間労働者の流入が、ドイツの社会に大きな影響を与えています。

このような背景の中、新しい統合プログラムの下、ドイツでは、教育、就労、収入等を基準に社会統合を図ろうとしています。教育では、第一目標として、ドイツ語能力を高めることにあり、学校では帰化したトルコ人や期間労働者の家族に学習対象者を広げてドイツ語補講授業を実施しています。しかしながら、「多文化共生社会」が理想である一方、実際はお互いの社会に接点のない「パラレルワールド(平行世界)」が現実となりつつあります。例えば、トルコ人移住者が多い地区ではドイツに住みながらも、ドイツ語を話すことなく生活し、そこで生まれた子どももドイツ語を話さずに成長していくことがあります。ドイツ語が分からない → 学校に行けない → ドイツ社会に順応出来ないという悪循環が生まれます。学校教育では、外国人生徒が50%を超えと言葉の問題から学習レベルが下がってしまう恐れがあるとされ、ドイツ人が他の地区へと引っ越してしまい、結局、トルコ人だけになってしまいます。私が住んでいた近くに、住民の80%~90%が外国人という地区があり、大学のフィールドワークで住民へのインタビューを試みましたが、ドイツ語が伝わらないこともありました。今では、国内で「外国」を日帰り体験旅行できる場所として紹介される程です。



\*パラレルワールドは、アメリカでは、さらに顕著で、白人と黒人、そしてヒスパニックの人たちがそれぞれに居住区を住み分けています。教育と治安の問題が発生します。

#### ドイツの移民政策と宗教(引き続き、アクストさんにお聞きしました。)

ドイツにおける多文化共生社会において、近年、イスラム教という宗教の違いにより住民間の不信感や社会問題が発生しています。トルコ人、アラブ系の人たちがドイツ社会に溶け込めていないという状況があります。イスラム社会では女性は家の中に居て学校に行かない、という宗教的な背景も要因になっているようです。さらに、このグループの失業率や犯罪率は、他のドイツ人グループより高い数字を示しています。

このような中、ドイツの学校では、イスラム教について、授業の一環としてドイツ語で教えるという動きがあります。イスラム教についての相互理解が生まれるからです。イスラム教の場合、

教育の窓口となるモスクが統一されていない、講師がいないなどの課題もありますが、キリスト教同様、授業の中でイスラム教について取り上げていきたいということです。これにより、現在学校ではなくモスクで学習しているイスラム教徒家族の子どもたちも学校に通学することが期待されます。多宗教を認める土台がないと多文化共生社会を築くことができません。

#### 日本における移民政策の現状

ドイツの例は、移民社会での言語教育、そして宗教問題を、国家がどのように取り扱うのが如何に難しい問題であることを示しています。

羽賀さんに、ドイツの実情から日本の移民政策、多文化共生社会について展望していただきました。

日本は移民政策という点ではまだスタートラインにさえも立っていません。労働力を必要とするドイツは、外国人を受入・共生を図るために、試行錯誤を繰り返し、多大な努力をしてきました。そのドイツでさえ、最近では在在外国人数が減少しています。移民政策で成功している国は、世界中どこにもないのかもしれない。

日本における移民政策として、1990年の「入国管理及び難民認定法」の改正による「日系ブラジル人」の受入があります。経済界の意向を受けて、外国人労働者を全面的に受け入れようとしたのですが、治安優先という観点から、「日系ブラジル人」ならば良いという折衷案が日本政府によって示され、本格的な移民政策は頓挫したと言えます。これにより、ルーツは日本にあるけど、日本語も日本文化も分からない人たちが、労働者として日本を目指して来ました。ブラジル人の登録者数は30万人を超え、中国、韓国・朝鮮に次いで3番目に多い国籍となり、東海・中部地方を中心に製造業を支える存在にまでなりました。しかし、大きな問題は、来日手続をするブローカーの介在で、日本語能力が全然なくても来日することが出来たことです。リーマンショック以来、日本の経済状況が悪くなると、ブローカーが手を引き、日系ブラジル人が社会の中で孤立する、また帰国するケースが増加しています。そこで慌てて、日本政府は日系ブラジル人への日本語教育を支援しようとした。全て後手後手の政策になっています。

#### まとめ(引き続き、羽賀さんにお聞きしました。)

国外ではグローバル化による世界競争、国内では少子高齢化の中でも、日本が経済成長を続け発展していくには、外国人を受け入れることを真剣に考えなければなりません。日本が依然として魅力ある国なのか、日本が受入国として選別される時代になっており、入国時における整理に加え、社会統合という二本建の移民政策を示す必要があります。そして、それは外国人も同じ地域住民、すなわちパートナーとして社会を創造していくという観点から検討されることが大切です。

これからの日本国のあるべき姿を思い描き、そのために必要な人材に来てもらうためには、これからどのような移民政策をつくっていくべきか、日本国としての意識の統一が、今、必要な時期に来ています。

#### お知らせ

\*本年2月を多文化共生月間として、多文化共生に関しての様々な催しを予定しています。本特集でご対談をいただいた長岡市国際交流センター長の羽賀友信さんにも、ご来熊をいただき、ご講演をいただきます。(詳細は、本ニュースレター5ページをご参照下さい。)今後の日本国について多文化共生という観点から考える機会にしたいと考えております。各催しへの皆様のご参加をお待ちしております。

## 「コムスタカー外国人と共に生きる会」の紹介

(1) 1985年9月にキリスト者や市民で、熊本市の中心部にある手取カトリック教会を連絡先に、アジアから日本に働きに来ている女性の相談や支援を行うNGOとして「滞日アジア女性の問題を考える会」という名称で、発足しました。1990年代になると、外国人の定住化の進展から国際結婚や国際離婚や子どもに関する相談が増え、外国人の国籍や相談内容も多様化したため、1993年4月から、「コムスタカー外国人と共に生きる会」に改称して、現在に至っています。

(2) 会の趣旨は、「国籍や属性に関係なく、皆の人権が守られ、私たち皆が安心して暮らせる社会となること」を目的に、会の運営は、ボランティア活動として 会員の会費や多くの方々からの寄付金等で運営しています。また、会の活動は、在住外国人を対象とした毎週1回の無料の日本語教室の開設や、在住外国人のための無料の人権相談や生活自立支援、移住外国人等の問題に関する映画会や講演会などの啓発活動、多文化共生社会の実現をめざして行政関係機関への政策提言などが主な活動です。

(3) 2001年10月のDV(配偶者間暴力)防止法の

施行後は、おもに移住女性のDV被害者を保護する民間団体として、また熊本県DV対策関係機関会議の構成団体として、熊本県総合福祉相談所、熊本家庭裁判所、警察など公的機関や他の民間団体と連携しながら取り組んでいます。

(4) 近年、マスコミでも報道されたコムスタカの活動として、2009年9月から12月にかけて、韓国 忠清南道知事からの依頼による東アジアの3つの地域(韓国・台湾・日本)の多文化家族(国際結婚家族)の生活意識調査への協力、同年7月6日 熊本家庭裁判所で言い渡された「比女性 重婚無効 認めず」の判決の事件のDV被害者であるフィリピン女性の支援活動、2010年9月14日に和解解決となった中国人女性技能実習生の感謝料等請求の相談や訴訟支援活動等があります。移住外国人の問題や多文化共生等に関心と興味のある方は、下記へお問い合わせ下さい。併せて会員も募集しています。

年会費 個人 一口 5000円  
団体 一口 1万円です。



お問い合わせは、下記連絡先までどうぞ、  
〒860-0845 熊本市上通町3-34  
手取カトリック教会気付  
コムスタカー外国人と共に生きる会  
電話.096-383-4136(会員宅) FAX096-285-3411  
ホームページ  
(<http://www.geocities.jp/kumustaka85/index.html>)

## ◆インターナショナルサロン◆

気軽に国際交流が楽しめると好評のインターナショナルサロン。1月、2月の予定は下記のとおりです。お申し込みは毎月1日から。(1月は4日から)1日が土日祝日と重なった場合は、翌平日からの受付となります。お早めにご予約下さい。参加費は各300円です。

定員：各18名

場所：熊本市国際交流会館2F ミーティングルーム

時間：(1)～(6) 14:00～15:00、18:30～19:30

(7)～(8) 14:00～15:00

(9) 18:30～19:30

(1)アメリカサロン 1月13日(木)、2月10日(木)

(2)ドイツサロン 1月20日(木)、2月17日(木)

(3)中国サロン 1月27日(木)、2月24日(木)

(4)英語サロン 1月17日(月)、2月 8日(火)

(5)ドイツ語サロン 1月18日(火)、2月15日(火)

(6)中国語サロン 1月25日(火)、2月22日(火)

(7)中国語を学ぼうサロン 1月21日(金)、2月18日(金)

(8)韓国語を学ぼうサロン 1月28日(金)、2月25日(金)

(9)フランス語サロン 1月21日(金)、2月18日(金)

## ◆つきいち世界を知ろう!◆

小中学生を対象に、月一回世界中のおもしろい習慣や風習を体験したり、歴史について学びながらもっと世界を身近に感じてもらうイベントです。参加無料!

1月のテーマは

### “中国の湯団(タントワン)作り”

この時期になると各家庭で作られる旧正月に食べる「湯団」を作ります。

講師：李 墨竹さん、ベンジャミン・グリフィンさん、  
フローリアン・アクストさん

日時：1月16日(日) 10:00～11:30

場所：熊本市国際交流会館4F第3会議室

定員：30名

申し込み：1月4日(火) 9:00から申し込み受付開始

2月のテーマは

### “アメリカのスウィーツ作り”

講師：ベンジャミン・グリフィンさん

李 墨竹さん、フローリアン・アクストさん、

日時：2月20日(日) 10:00～11:30

場所：熊本市国際交流会館4F第3会議室

定員：30名

申し込み：2月1日(火) 9:00から申し込み受付開始

## ◆こども「ものづくり」教室◆

毎月1回、“ものづくり”を通して、子ども達の無限の創造力を引き出し、豊かな心を育てます。一つのものをつくるという活動を通して文化、習慣の違いを在外国の方々といふれあい、交流を深めます。熊本ものづくり塾と共同開催です。参加無料!

### 1月の作品

#### 「ステンドケナフづくり」

日時：1月23日(日) 10:00～12:00

場所：熊本市国際交流会館B2F 多目的ルーム

定員：30名(先着順)

対象：小中学生とその家族

申し込み：1月4日(火) 9:00から申し込み受付開始

### 2月の作品

#### 「い草のランプシェードづくり」

日時：2月27日(日) 10:00～12:00

場所：熊本市国際交流会館B2F 多目的ルーム

定員：30名(先着順)

対象：小中学生とその家族

申し込み：2月1日(水) 9:00から申し込み受付開始

## ◆世界の現状を知ろう◆

毎月、私たちにあまり馴染みのない国の文化、人々の生活などを紹介するサロンです。いろんな国の新たな発見を試みませんか。

### 1月の国は ～ドミニカ国～

日時：1月29日(土) 14:00～15:00

場所：熊本市国際交流会館2Fミーティングルーム

定員：18名

対象：どなたでも

参加費：無料

申し込み：1月4日(火) 9:00から申し込み受付開始

### 2月の国は ～マダガスカル(予定)～

日時：2月26日(土) 14:00～15:00

場所：熊本市国際交流会館2Fミーティングルーム

定員：18名

対象：どなたでも

参加費：無料

申し込み：2月1日(火) 9:00から申し込み受付開始

## ◆東アジアをもっと身近に 「毎月楽しもう“アジア”の食&文化!」◆

ますます東アジアとの友好促進が求められる中、在熊のアジア出身の方を講師にお招きし、その国の文化風習に関する紹介と、楽しい料理づくり体験を通して、異文化理解と、交流を図るイベントを、毎月1回(第4日曜日)開催しています。

### 1月はインド

日時：1月30日(日) 11:00-13:30

場所：熊本市国際交流会館

定員：20名

内容：①ミニセミナー「インドの文化風習」

②料理づくり

参加費：300円(食材費として)

申し込み：1月4日(火) 9:00から申し込み受付開始

### 2月はミャンマー

日時：2月27日(日) 11:00～13:30

場所：熊本市国際交流会館

定員：20名

内容：①ミニセミナー「ミャンマーの文化風習」

②料理づくり

参加費：300円(食材費として)

申し込み：2月1日(火) 9:00から申し込み受付開始

## ◆英国式ベビーマッサージ◆

親子で国際交流を体験しませんか?英語で学ぶ0歳児からのコミュニケーション。  
イギリス出身のアドラー・コリンズ・慈観氏(県立福岡大学准教授)を講師に迎え、英国式ベビーマッサージを学びます。赤ちゃんの心身の発育を良くするだけでなく、親子間の絆も深まりますよ!

日 時:1月17日(月) 10:30~11:30  
場 所:熊本市国際交流会館B2F多目的ルーム  
定 員:15組  
対 象:生後3カ月~1歳半までの赤ちゃんとその保護者  
参加費:2,000円  
参加方法:1月4日(火)9:00から申し込み受付開始

日 時:2月21日(月) 10:30~11:30  
場 所:熊本市国際交流会館B2F多目的ルーム  
定 員:15組  
対 象:生後3カ月~1歳半までの赤ちゃんとその保護者  
参加費:2,000円  
参加方法:2月1日(火)9:00から申し込み受付開始

## 1月 ~国際交流月間~

◆熊本市海外友好姉妹都市  
紹介写真展◆

熊本市が盟約締結する海外の友好姉妹都市との交流の歴史などを写真やパネルを使って紹介致します。

日 時:1月12日(水)~31日(月)  
会 場:国際交流会館1F

## ◆フェアトレードセミナー2011◆

「ノクシカタ ~ベンガルの伝統と女性たち~」をテーマに、公正な貿易を通して国際協力活動を推進するフェアトレードのセミナーを開催します。

日 時:1月21日(金)17:00-19:00  
場 所:国際交流会館2F  
定 員:50名ほど  
参加方法:1月4日(火)9:00から申し込み受付開始

## ◆ハイデルベルク・デー◆

熊本市の友好都市ドイツ・ハイデルベルク市との交流、そして文化などをスライドや歌で紹介致します。当日はグリューワイン(HOTワイン)なども試飲可能です。

日 時:1月29日(土)15:00~17:00  
場 所:国際交流会館2F  
定 員:50名ほど  
参加方法:1月4日(火)9:00から申し込み受付開始

## 2月 ~多文化共生月間~

◆多文化共生写真展  
~スマイルプロジェクト~◆

100人のスマイル、在住外国人、海外在住の熊本出身者、元熊本に暮らしていた人たちの熊本への思いを笑顔で展示します。

日 時:2月6日(日)~27日(日)  
会 場:国際交流会館1F

◆世界の動きを知るセミナー  
~多宗教という観点から~◆

急速にグローバル化が進む中において、人々の活動背景には宗教という概念が強く影響されています。一方、日本ではその基本的な概念が欠けている点が指摘されています。そこで、熊本に住む多様な宗教背景を持つ方々が一堂に会し、それぞれの宗教概念をお話しすると共に、互いの宗教を正しく知ることで、相互理解へ繋がり平和な社会を築くことを一緒に考えていきます。

日 時:2月5日(土)13:30~16:30  
場 所:国際交流会館2F  
定 員:50名ほど  
参加方法:1月4日(火)9:00から申し込み 受付開始

## ◆多文化共生シンポジウム in くまもと◆

第1部では世界60カ国以上を訪問した経験のある羽賀友信氏が世界から見た「九州・熊本の素晴らしいところと、その魅力」について語ります。第2部では「今、九州・熊本に必要なものは?」「九州・熊本を世界へ発信するために必要なものは?」というテーマで在住外国人、留学生が参加者と一緒に九州・熊本の魅力を再発見します。

日 時:2月19日(土)14:00~16:30  
場 所:熊本県立大学  
定 員:100名  
参加方法:1月4日(火)9:00から申し込み受付開始

3月は「国際協力月間」としてNGO協働SAKURA祭(3月26日、27日)等、様々なイベントを開催予定しています。

## 国際掲示板

## ◆第6回 チャリティダンスパーティー◆

熊本パイロットクラブは、創立27年に当たります。日本に42クラブあり、知的障がい者の移動絵画展等を行い、心身障がい児(者)施設の奉仕、脳関連障がい者(団体)支援等を行っています。ダンスの益金は、NPO法人「菊池ひまわりの会」に寄付いたします。

日 時:1月15日(土)5時開場 5時半開演  
場 所:鶴屋百貨店 東館 鶴屋ホール  
対 象:どなたでも  
参加費:7,000円 17:00開場 17:30開演  
お問合せ先:熊本パイロットクラブ TEL: 096-379-8754



# 世界を知る It knows the world.

## オーストラリアの イヤーエンド



家族写真

オーストラリア人の主人と結婚してシドニーへ移り1年が経ち、間もなく2度目のクリスマスを迎えようとしています。今の時期、オーストラリアは夏真っ盛りで、クリスマスの様子も日本とはかなり違っていています。サンタクロースがTシャツに短パン姿だったり、パーティーも室内ではなくお庭やバルコニーもしくはビーチや公園でBBQをしたりというのが主流のようです。

12月に入るとオーストラリアもクリスマスモード一色で、クリスマスショッピングで賑わい、週末になると友人宅やビーチでのパーティーが始まります。そしてクリスマス当日は家族と過ごす人が大半です。

主人は10人兄弟なので、家族みんなが集まると総勢50人以上になり、それぞれの家族に都合がある為、昨年は12月に入ってから3度に分けてクリスマスのファミリーランチをしました。それぞれのパーティーに毎回20~30人は集まるため、参加する家族は1品持ち寄りとなり、その頃妊娠7カ月だった私に義母は「無理をしなくていいから」と言ってくれてはいたのですが、初の家族行事だったので、私も頑張って料理を作って参加しました。

作って行く!と言い切ったものの、私自身は2人姉妹に両親と祖母の5人家族なので、その人数の多さに圧倒されてしまいました。買い出しではどれだけの分量を買ったらいいのか分からなかったり、また作った料理を入れる大きな器も無く、急遽、義母宅に借りに行ったりと、かなりバタバタしたのを今でも思い出します。ランチとはいうものの、1時過ぎ

このページは「国際就職」についてキャリアデザインスクールアートアイのご協力を得て、日本で生活する私たちには日常知ることができない興味深い世界の状況を紹介いたします。

### 日登美 Thwaitesさん

国内線地上職、国際線航空会社CAとして勤務の後、結婚を機にシドニーへ移住、出産を経験。航空会社勤務のオーストラリア人の夫と9ヶ月のOwen君の育児奮闘中。

に始まり、夜遅くまで続くのも、日本とは大きく違うところでは。

こちらでは大みそかは家族と過ごす人より、恋人や友人と過ごす人が多いようで、街中のBarはお祭り騒ぎとなり、夜はNYE(New Years Eve)の花火を見ようと多くの人で賑わいます。

1月は夏休み真っ盛りで、子どものいる家庭は大抵この頃に長期休暇を取り、家族で過ごす人が多いよう

です。主人の兄弟、そして従兄達も同様にこの頃に休暇を取り、一族恒例のサマーハウスで過ごすバケーションが始まります。これは主人達が小さな頃からずっと続いているらしく、シドニーから車で3~4時間離れたビーチ沿いの小さな町に行き、それぞれの家族がウィークリーで近くに家を借りて、夏休みを一緒に過ごすのですが日中は子供達とサーフィンやブギーボードをしたり、ビーチでクリケットをしたりして過ごし、夜は一族総勢およそ50人が大集合し夕飯を一緒に食べます。人数が多いのでほぼ毎日BBQをしていました。ここでも家族がサラダやデザートをそれぞれ1品持ち寄るのですが流石に50人前ではなく、それでもやはり20~30人前を毎晩作っては持っていきました。食事の後、子供たちはそれぞれの年代で集まり、大人は夜中まで飲んで、歌って、踊ってと、まるで若かりし頃に戻ったかのように毎晩大盛り上がりしていました。

今年のクリスマス当日は主人の仕事の都合でパーティーには参加できないのですが、12月中旬にすでに第1回目のクリスマスランチに参加してきました。そして間もなくサマーハウスでのバケーションが始まります。今年は息子が新たに加わり主人は勿論のこと、兄弟やその姪っ子や甥っ子達、そして主人の従兄達までもがとっても楽しみにしていてくれるので、私たちも今から楽しみでなりません。

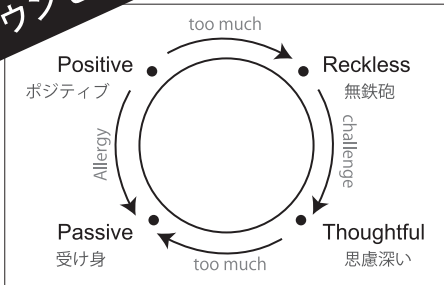


クリスマスランチの衣装



夕食後の騒ぎの様子

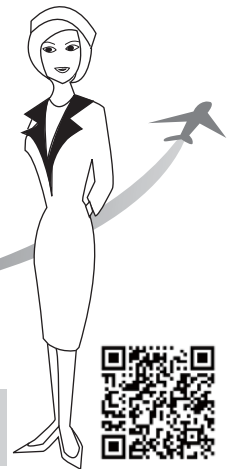
自分を知ろう!!  
無料カウンセリング



## Quality Circle

クオリティー・サークル

新年の新しいご提案「クオリティーサークル」。自分の本質を探るチャート作りです。自分と向き合い、自分を知る事で、進むべき道を徹底分析。やりたいう事が定まらないのは、自分を知らないからなのです。まずは完全予約制の無料カウンセリングから。



Career Design School 『Art-I』  
キャリアデザインスクール アート・アイ

エアライン・ホテル就職対策講座 TOEIC 講座 魅力アップ講座  
TEL:096-324-1261 E-mail: info@art-i.jp



# 世界を知る It knows the world.

## パプア・ニューギニアの イヤーエンド～クリスマス

このページは世界を知るをテーマに「国際協力」については、独立行政法人国際協力機構（JICA）デスク熊本のご協力を得て、日本で生活する私たちには日常知ることができない興味深い世界の状況を紹介します。

JICA熊本デスク  
国際協力推進員 木下 俊和さん



パプア・ニューギニア（以下PNG）は、南太平洋の西端に位置する島国です。国土面積は、日本の1.25倍、人口は、約650万人と推計されています。サンゴ礁の海と多種多様な珍しい動植物が棲息する熱帯雨林（アマゾンに次ぐ世界第2の熱帯雨林といわれています）という豊かな自然に恵まれた国です。

PNGは、12月になるとFeast Season（宴の季節）といい、気分的に楽しくなる季節です。年の終りの月であると同時に、年度の終わりの時期でもあり、4週間～6週間の休暇を取る時期でもあります。PNGは、人口の95%がキリスト教を信仰しているといわれ、この季節はやはりクリスマス休暇を含めて休暇をとるようです。

オーストラリアのように、サンタクロースがサーフィンに乗ってやってくることはありませんが、町中がクリスマスの雰囲気になり、スーパーマーケットのレジ係の人たちは、サンタクロースの帽子をかぶって接客をしています。

12月24日には、職場でもクリスマスプレゼントの交換が行われます。私が働いていた観光局でも、それぞれプレゼントを持ち寄り、くじ引きでもらえるプレゼントが決まります。そのため、どんなプレゼントがもらえるかは、開けてのお楽しみといったところです。当たったプレゼントについての不満はナシというのがルールです。

12月31日に近づくにつれ、スーパーマーケットのパン売り場は大勢の人々が押し掛け、食パンをはじめとしてパン類を大量に買っていきます。確かな理由は、わからないのですが、恐らく「キリストの血と肉」の教えの影響かと思われます。PNGの農村地域に住む人々は、普段イモ類やバナナを主食としており、パンを食べることは少なく、1年に1度のごちそうの1つであると考えられます。しかし、ワインは、高価なため、現地の人々が飲むことは少ないようです。ワインの代わりにビールやバナナなどで作った地酒を代用しているようです。

31日の夜は、ホテルなどで年越しパーティーが行われ、花火を打ち上げるホテルもあります。花火が無い場合は、発煙筒を打ち上げている人たちも見受けられます。

1月1日は、祝日となりそれぞれの村で新年を祝っています。1月2日からは、普段の生活にもどり、案外あっさりした感じを受けます。

PNGでは、新年よりもやはりクリスマスが1年の中で大きなイベントの1つと考えられているようです。

このFeast Seasonは、1年の中で最も楽しい季節ではありませんが、一方でお酒にまつわるトラブルが多発（部族闘争に発展することもあります）するため、要注意の季節でもあります。ちなみに、12月20日すぎから1月10日頃まで、街中のボトルショップ（酒屋）は一斉に休業します。州の法律で、お酒の販売が禁止されます。でも、PNGの人々はどこからかお酒を探してきて、飲んでいますが。



### あなたの企業も一緒に情報発信しませんか!?

この「ニュースレターくまもと」は、当事業団の機関紙として平成7年11月の創刊以来、熊本の国際交流・協力に関する情報を、日本各地の国際交流協会、国際交流・協力機関や市民、在住外国人の方々を中心に幅広く発信し、国際交流・協力に感心を持つ人、開発教育関係の教育者、留学を考えている人、異文化理解に興味を持つ人など、多くの方々にご愛読いただいています。

\* web でも公開しています。( <http://www.kumamoto-if.or.jp/> )

発行：年6回（奇数月発行）部数：3,000部

配布先：市内の小・中学校、高校、大学、全国の国際交流協会、市内の国際交流・協力団体、当事業団のボランティア登録者及び賛助会員（約500名）、熊本市役所関係機関（市民センター、公民館等）、熊本市国際交流会館内

広告の種類：1/4ページ（この広告募集のサイズです。）

契約期間及び料金：単発（1回）20,000円、半年契約（3回）45,000円、年間契約（6回）60,000円

# ちよつと日本語

Japanese Tip

## あけましておめでとうございます

NPO法人日本語サポートあさ  
代表 小川 ひろみ さん

日本語の教室で、「先生! あけましておめでとうございます」とだれかがいって、年内最後の授業が終わりそうになることがあります。年賀状を手渡されることもあります。「正月の挨拶も年賀状も12月じゃなくて、

1月1日から7日くらいまで」というと、反対に「え!」という声。たしかに「I wish you a Merry Christmas 楽しいクリスマスをお過ごしください。」はクリスマス前の挨拶だし、同様に英語で「I wish you a Happy New Year」といえば正月前の挨拶と思うのですが、「あけまして」とは「年が明けたので、おめでとう。」つまり「て」は「プレゼントをもらって、うれしい」の「て」(原因理由)。そういうとみんな納得、そして全員で声を揃えて元気よく、「よいお年をおむかえください」といってから、年内最後の授業がおわります。



### きぶプロ

#### 留学生シンポジウム in 国際交流会館

12月18日(土)、熊本市国際交流会館で、留学生シンポジウムが開催されました。1部のパネルディスカッションと2部の餅つきとの2部構成で世界の食、日本の食をテーマに進められました。

留学生と大いに語り合い、交流を図り、思いを共有し、そして、共生に結びつけていく、その日だけのイベントだけでなく、今後につなげていく、そんなシンポジウムになりました。

餅つきでは、留学生が考える「わたしの思う餅(MOCHI)」。様々な食材と一緒に餅を食べました。スリランカのカレー、韓国のコチジャン、ポーランドのボルシチ、カナダはピーナッツバター、マダカスカルは蜂蜜、ベトナムは甘いスープ、日本のあんこ、きなこもありました。新しいテイスト、驚きのマッチング!また、色々な国のお茶も体験できて、そこには食を通して多くの交流がありました。

「餅」は英語で「RICE CAKE」と言いますが、今回のシンポジウムを見て、「餅」は、「MOCHI」だと感じました。何か、「RICE CAKE」では伝わってこない、「MOCHI」には、多くの人たちが集まってきて、一緒に、ベッタンコとついて、みんなで丸めて、ワイワイがやがや楽しくというイメージ、そして何かお祝いのイメージが浮かんできます。

そして、今回のシンポジウムで感じたことは、学生のボランティアの皆さんが本当によく動いてくれたことでした。そして、一緒になって楽しんでくれたことでした。次回は、留学生も一緒になって準備をして、片付けもする、そんなことが出来たら良いなと思います。

## ☆平成23年度 賛助会員募集!!☆

(財)熊本市国際交流振興事業団では賛助会員を募集しています。当事業団の活動にご理解とご支援をいただくと共に、さらなる国際交流や国際協力の輪が広がることを願っています。

会員の方々には、事業団の機関誌『ニューステアークまもと』の送付や様々な情報の提供をさせていただきます。また、フェアトレードステュデントカフェ「はちどり」様よりフェアトレードコーヒー割引特典、Denkikan様のご協力により映画鑑賞料金の割引特典や当事業団主催講座の受講料会員割引特典もあります。

- ①個人会員 一口 2,000円/年(一口以上)
- ②団体会員 一口 10,000円/年(一口以上)

平成24年3月までの会員期間となります。

### <入会のお申し込み・お問い合わせ>

(財)熊本市国際交流振興事業団事務局  
〒860-0806 熊本市花畑町4-8 熊本市国際交流会館  
TEL:096-359-2020 FAX:096-359-5783  
E-mail:ad-info@kumamoto-if.or.jp

### 私たちは熊本の国際交流活動を応援しています! (団体)50音順(敬称略)

- |                 |               |                  |
|-----------------|---------------|------------------|
| 阿蘇ハイランド開発株式会社   | 株)JT 熊本支店     | 熊本日米協会           |
| 医療法人社団 愛育会 福田病院 | 株)ニクスカイホテル    | 国立大学法人 熊本大学      |
| 学校法人 君が淵学園 崇城大学 | 株)北翔工業        | (財)熊本市駐車場公社      |
| 学校法人 鎮西学園       | 九州農水株式会社      | 全国ものづくり塾         |
| 徳島民百貨店          | 熊本学園大学・経理課    | 大功宅建             |
| 株)コスギ不動産        | 熊本交通センターホテル   | 西日本電信電話株式会社 熊本支店 |
| 株)ザンカラ          | 熊本市地域婦人会連絡協議会 | 備ビジネスман新熊本ホテル   |

### 皆様継続・新規加入ありがとうございました

(平成22年10月10日現在) (個人)50音順(敬称略)

- |        |       |       |
|--------|-------|-------|
| 稲葉 秀造  | 上田 教子 | 本田 ノブ |
| 上田 英津子 | 上田 修義 | 松本 博之 |



- 阿蘇くまもと空港より 車で45分
- 熊本交通センターより 徒歩3分
- 熊本市電より熊本城前下車 徒歩3分

from Aso-Kumamoto Airport-45minutes by car  
from Kotsu Center-3minutes walk  
from "Kumamoto jou mae" tram stop-3minutes walk

### 熊本市国際交流会館 国際交流サポートセンター

開館時間 平日 午前9時~午後8時  
土、日、祝日、午前9時~午後7時  
多文化共生オフィス(午前11時~午後6時) 096-359-4995(直通)  
休館日 第2・第4月曜日、年末年始(12月29日~1月3日)

Civic Support Center for International Exchange and Cooperation  
Kumamoto City International Center  
Service Hours: Monday to Friday 9:00 a.m.-8:00 p.m.  
Saturday, Sunday, National Holidays 9:00 a.m.-7:00 p.m.  
Multicultural affairs office(11:00a.m.-6:00p.m.) 096-359-4995(Dial-in)  
Closed: 2nd and 4th Mondays of each month, Dec.29th~Jan3rd